

平成24年度 財政状況資料集

総括表（市町村）

都道府県名		兵庫県		市町村類型	特例市	指定団体等の指定状況		区分	平成24年度(千円)	平成23年度(千円)	区分	平成24年度(千円・%)	平成23年度(千円・%)														
						財政健全化等	×	歳入総額	70,848,723	68,794,910	実質収支比率	2.2	1.4														
市町村名		宝塚市		地方交付税種地	2-9	財源超過	×	歳出総額	69,235,973	67,794,648	経常収支比率	96.9	97.8														
						首都	×	歳入歳出差引	1,612,750	1,000,262	(※1)	(106.3)	(106.6)														
						近畿	○	翌年度に繰越すべき財源	665,355	394,989	標準財政規模	42,235,730	42,070,289														
								実質収支	947,395	605,273	財政力指数	0.86	0.88														
人口		22年国調(人)	225,700 <th colspan="2" rowspan="3">産業構造(※5)</th> <th>中部</th> <th>×</th> <th>単年度収支</th> <td>342,122</td> <td>-230,752</td> <th>公債費負担比率</th> <td>16.9</td> <td>18.5</td>	産業構造(※5)		中部	×	単年度収支	342,122	-230,752	公債費負担比率	16.9	18.5														
		17年国調(人)	219,862 <th>過疎</th> <th>×</th> <th>積立金</th> <td>308,611</td> <td>426,153</td> <th>健全化判断比率</th> <td></td> <td></td>			過疎	×	積立金	308,611	426,153	健全化判断比率																
		増減率(%)	2.7 <th>山振</th> <th>×</th> <th>繰上償還金</th> <td>3,416</td> <td>-</td> <th>実質赤字比率</th> <td>-</td> <td>-</td>			山振	×	繰上償還金	3,416	-	実質赤字比率	-	-														
住民基本台帳人口(※7)		25.03.31(人)	233,967 <th rowspan="2">区分</th> <th rowspan="2">22年国調</th> <th rowspan="2">17年国調</th> <th>低開発</th> <th>×</th> <th>積立金取崩し額</th> <td>-</td> <td>-</td> <th>連結実質赤字比率</th> <td>-</td> <td>-</td>	区分	22年国調	17年国調	低開発	×	積立金取崩し額	-	-	連結実質赤字比率	-	-													
		うち日本人(人)	230,860 <th>第1次</th> <th>824</th> <th>1,067</th> <th>指数表選定</th> <th>○</th> <th>実質単年度収支</th> <td>654,149</td> <td>195,401</td> <th>実質公債費比率</th> <td>8.6</td> <td>9.1</td>				第1次	824	1,067	指数表選定	○	実質単年度収支	654,149	195,401	実質公債費比率	8.6	9.1										
		24.03.31(人)	230,257 <th rowspan="2">第2次</th> <th rowspan="2">17,703</th> <th rowspan="2">20,963</th> <th></th> <th></th> <th></th> <td></td> <td></td> <th>将来負担比率</th> <td>64.2</td> <td>64.6</td>	第2次	17,703	20,963						将来負担比率	64.2	64.6													
		うち日本人(人)	230,257 <th></th> <th></th> <th></th> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td>																								
		増減率(%)	1.6 <th rowspan="2">第3次</th> <th rowspan="2">20.0</th> <th rowspan="2">21.3</th> <th></th> <th></th> <th></th> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td>	第3次	20.0	21.3																					
		うち日本人(%)	0.3 <th></th> <th></th> <th></th> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td>																								
面積(k㎡)		101.80 <th></th> <th>79.1</th> <th>75.1</th> <th></th> <th></th> <td></td> <td></td> <th></th> <td></td> <td></td>			79.1	75.1																					
人口密度(人/㎢)		2,217 <th colspan="3"></th> <th></th> <th></th> <td></td> <td></td> <th></th> <td></td> <td></td>																									
世帯数(世帯)		91,737 <th colspan="3"></th> <th></th> <th></th> <td></td> <td></td> <th></th> <td></td> <td></td>																									
職員の状況																											
特別職等	区分	定数	1人あたり平均給料月額(百円)	一般職員等	区分	職員数(人)	給料月額(百円)	1人あたり平均給料月額(百円)	地方債現在高	77,956,992	77,275,193																
	市区町村長	1	8,890 <th>一般職員</th> <td>1,206</td> <td>3,967,740</td> <td>3,290<th>うち公的資金</th><td>56,435,693</td><td>56,023,025</td><td></td><td></td></td>		一般職員	1,206	3,967,740	3,290 <th>うち公的資金</th> <td>56,435,693</td> <td>56,023,025</td> <td></td> <td></td>	うち公的資金	56,435,693	56,023,025																
	副市区町村長	1	7,480 <th>うち消防職員</th> <td>229</td> <td>683,565</td> <td>2,985<th>債務員担行為額(支出予定額)</th><td>20,034,445</td><td>18,529,326</td><td></td><td></td></td>		うち消防職員	229	683,565	2,985 <th>債務員担行為額(支出予定額)</th> <td>20,034,445</td> <td>18,529,326</td> <td></td> <td></td>	債務員担行為額(支出予定額)	20,034,445	18,529,326																
	教育長	1	6,550 <th>うち技能労務職員</th> <td>185</td> <td>610,130</td> <td>3,298<th>収益事業収入</th><td>-</td><td>-</td><td></td><td></td></td>		うち技能労務職員	185	610,130	3,298 <th>収益事業収入</th> <td>-</td> <td>-</td> <td></td> <td></td>	収益事業収入	-	-																
	議会議長	1	6,830 <th>教育公務員</th> <td>104</td> <td>352,661</td> <td>3,391<th>土地開発基金現在高</th><td>500,000</td><td>500,000</td><td></td><td></td></td>		教育公務員	104	352,661	3,391 <th>土地開発基金現在高</th> <td>500,000</td> <td>500,000</td> <td></td> <td></td>	土地開発基金現在高	500,000	500,000																
	議会副議長	1	6,130 <th>臨時職員</th> <td>6</td> <td>23,022</td> <td>3,837<th>積立金</th><td>5,066,734</td><td>4,758,123</td><td></td><td></td></td>		臨時職員	6	23,022	3,837 <th>積立金</th> <td>5,066,734</td> <td>4,758,123</td> <td></td> <td></td>	積立金	5,066,734	4,758,123																
	議会議員	23	5,630 <th>合計</th> <td>1,316</td> <td>4,343,423</td> <td>3,300<th>減債基金</th><td>1,607,504</td><td>1,606,222</td><td></td><td></td></td>		合計	1,316	4,343,423	3,300 <th>減債基金</th> <td>1,607,504</td> <td>1,606,222</td> <td></td> <td></td>	減債基金	1,607,504	1,606,222																
					ラスバイレス指数(※6)	110.0		(101.6)	現在高	4,806,551	4,848,753																
									その他特定目的基金																		
一般会計等の一覧																											
項番	会計名	事業会計の一覧	項番	会計名	公営企業(法適)の一覧	項番	会計名	公営企業(法非適)の一覧	項番	組合等名	関係する一部事務組合等一覧	項番	組合等名	地方公社・第三セクター等一覧	項番	団体名	(※3)										
(1)	一般会計	(4)	国民健康保険事業	(9)	水道事業会計	(12)	丹波少年自然の家	(13)	(財)宝塚市スポーツ振興公社	(14)	ソリオ宝塚都市開発(株)	(15)	(財)宝塚市文化財団	(16)	(財)宝塚市保険福祉サービス公社	(17)	宝塚都市環境サービス(株)	(18)	宝塚山本ガーデン・クリエイティブ(株)	(19)	(株)エフエム宝塚	(20)	宝塚市土地開発公社	(21)	逆瀬川都市開発	(22)	阪神北広域救急医療財団
(2)	特別会計公共用地先行取得事業費	(5)	国民健康保険診療施設	(10)	病院事業会計																						
(3)	特別会計宝塚すみれ墓苑事業費	(6)	介護保険事業	(11)	下水道事業会計																						
		(7)	農業共済事業																								
		(8)	後期高齢者医療事業																								

(注釈) ※1：経常収支比率の()内の数値は、「減収補填債(特例分)」及び「臨時財政対策債」を除いて算出したものである。
※2：各会計の一覧は主な会計(10会計まで)を記載している。
※3：地方公共団体が損失補填等を行っている出資法人で、健全化法の算出対象となっている団体については、「地方公社・第三セクター等」の団体名に○印を付与している。
※4：資金不足比率欄には、資金が不足している会計のみ記載している。
※5：産業構造の比率は、分母を就業人口総数とし、平成22年国調は分類不能の産業を除き、平成17年国調は分類不能の産業を含んでいる。
※6：ラスバイレス指数の()内の数値は、国家公務員の時限的な(2年間)給与改定特例法による措置が無いとした場合の値である。
※7：住民基本台帳法の改正により、平成25年3月31日現在の住民基本台帳登録人口については、外国人住民を含む。

(1) 普通会計の状況（市町村）

歳入の状況（単位：千円・％）					地方税の状況（単位：千円・％）					歳出の状況（単位：千円・％）				
区分					区分					目的別歳出の状況（単位：千円・％）				
区分	決算額	構成比	経常一般財源等	構成比	区分	収入済額	構成比	超過課税分		区分	決算額（A）	構成比	(A)のうち普通建設事業費	(A)のうち充当一般財源等
地方税	34,357,152	48.5	31,256,516	79.1	普通税	31,246,144	90.9	177,689		議会費	493,393	0.7	-	493,393
地方譲与税	446,928	0.6	446,928	1.1	法定普通税	31,246,144	90.9	177,689		総務費	6,802,650	9.8	258,427	5,907,629
利子割交付金	136,916	0.2	136,916	0.3	市町村民税	16,970,450	49.4	177,689		民生費	28,476,663	41.1	403,696	14,967,742
配当割交付金	138,684	0.2	138,684	0.4	個人均等割	308,018	0.9	-		衛生費	8,247,665	11.9	2,571,267	5,190,130
株式等譲渡所得割交付金	31,581	0.0	31,581	0.1	所得割	15,613,558	45.4	-		労働費	124,238	0.2	-	56,872
地方消費税交付金	1,654,991	2.3	1,654,991	4.2	法人均等割	432,986	1.3	85,637		農林水産業費	205,078	0.3	20,129	180,031
ゴルフ場利用税交付金	210,274	0.3	210,274	0.5	法人税割	615,888	1.8	92,052		商工費	664,668	1.0	17,656	284,589
特別地方消費税交付金	-	-	-	-	固定資産税	13,209,581	38.4	-		土木費	6,349,601	9.2	1,937,923	4,489,180
自動車取得税交付金	161,141	0.2	161,141	0.4	うち純固定資産税	13,130,005	38.2	-		消防費	2,515,558	3.6	512,235	1,978,926
軽油引取税交付金	-	-	-	-	軽自動車税	141,299	0.4	-		教育費	6,732,050	9.7	1,319,341	5,376,545
地方特例交付金	189,211	0.3	189,211	0.5	市町村たばこ税	924,814	2.7	-		災害復旧費	-	-	-	-
地方交付税	5,158,799	7.3	4,651,785	11.8	鉱産税	-	-	-		公債費	8,410,289	12.1	-	8,267,415
普通交付税	4,651,785	6.6	4,651,785	11.8	特別土地保有税	-	-	-		諸支出費	214,120	0.3	214,120	214,120
特別交付税	507,004	0.7	-	-	法定外普通税	-	-	-		前年度繰上充用金	-	-	-	-
震災復興特別交付税	10	0.0	-	-	目的税	3,111,008	9.1	-		歳出合計	69,235,973	100.0	7,254,794	47,406,572
(一般財源計)	42,485,677	60.0	38,878,027	98.4	法定目的税	3,111,008	9.1	-		性質別歳出の状況（単位：千円・％）				
交通安全対策特別交付金	36,066	0.1	36,066	0.1	入湯税	10,372	0.0	-		区分	決算額	構成比	充当一般財源等	経常経費充当一般財源等
分担金・負担金	841,069	1.2	-	-	事業所税	-	-	-		義務的経費計	39,526,499	57.1	26,622,163	26,390,083
使用料	1,893,133	2.7	399,415	1.0	都市計画税	3,100,636	9.0	-		人件費	14,533,517	21.0	13,311,572	13,084,680
手数料	329,945	0.5	-	-	水利地益税等	-	-	-		うち職員給	9,490,644	13.7	8,410,038	-
国庫支出金	9,900,021	14.0	-	-	法定外目的税	-	-	-		扶助費	16,583,188	24.0	5,043,671	5,041,899
国庫提供交付金(特別区財調交付金)	21,944	0.0	21,944	0.1	旧法による税	-	-	-		公債費	8,409,794	12.1	8,266,920	8,263,504
都道府県支出金	4,097,331	5.8	-	-	合計	34,357,152	100.0	177,689		元利償還金	8,408,841	12.1	8,265,967	8,262,551
財産収入	216,983	0.3	169,432	0.4						うち元金	7,187,921	10.4	7,102,821	7,099,405
寄附金	653,621	0.9	-	-						うち利子	1,220,920	1.8	1,163,146	1,163,146
繰入金	207,849	0.3	-	-						一時借入金利子	953	0.0	953	953
繰越金	1,000,262	1.4	-	-						その他の経費	22,454,680	32.4	19,116,508	15,597,118
諸収入	1,295,102	1.8	10,354	0.0						物件費	8,939,462	12.9	7,200,436	6,653,859
地方債	7,869,720	11.1	-	-						維持補修費	342,135	0.5	324,985	304,002
うち減取補填債(特例分)	-	-	-	-						補助費等	5,929,242	8.6	5,574,769	4,115,097
うち臨時財政対策債	3,817,420	5.4	-	-						うち一部事務組合負担金	17,845	0.0	17,845	16,960
歳入合計	70,848,723	100.0	39,515,238	100.0						繰出金	6,327,111	9.1	5,542,201	4,524,160
										積立金	470,090	0.7	462,942	-
										投資・出資金・貸付金	446,640	0.6	11,175	-
										前年度繰上充用金	-	-	-	-
										投資的経費計	7,254,794	10.5	1,667,901	-
										うち人件費	134,565	0.2	134,565	-
										普通建設事業費	7,254,794	10.5	1,667,901	-
										うち補助	2,146,797	3.1	167,571	-
										うち単独	5,024,894	7.3	1,430,227	-
										災害復旧事業費	-	-	-	-
										失業対策事業費	-	-	-	-
										歳出合計	69,235,973	100.0	47,406,572	-

公営事業等への繰出		国民健康保険事業会計の状況	
合計	9,818,721	実質収支	-1,464,603
下水道	1,923,682	再差引収支	-2,263,797
病院	1,536,000	加入世帯数(世帯)	33,201
上水道	31,928	被保険者数(人)	56,634
工業用水道	-	被保険者	保険税(料)収入額 85
国民健康保険	1,854,599	1人当たり	国庫支出金 74
その他	4,472,512		保険給付費 271

(注釈)
普通建設事業費の補助事業費には受託事業費のうちの補助事業費を含み、
単独事業費には同級他団体施行事業負担金及び受託事業費のうちの単独事業費を含む。

(2)各会計、関係団体の財政状況及び健全化判断比率（市町村）

一般会計等の財政状況(単位:百万円)

会計名	歳入	歳出	形式収支	実質収支	他会計等からの繰入金	地方債現在高	備考
1 一般会計	89,950	87,745	1,595	840	353	74,246	
2 特別会計公共用地先行取得事業費	3,104	3,104	0	-	89	3,051	
3 特別会計宝塚すみれ墓前事業費	2,343	2,235	108	108	90	2,211	
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20 一般会計等(純計)	74,697	73,084	1,813	347		79,602	実質赤字額

※一般会計等(純計)は、各会計の相互間の繰入・繰出等の重額を控除したものであり、各会計の合計と一致しない場合がある。

公営企業会計等の財政状況(単位:百万円)

会計名	総収益 (歳入)	総費用 (歳出)	純損益 (形式収支)	資金剰余額 不足額 (実質収支)	他会計等 からの 繰入金	企業債 (地方債) 現在高	左のうち 一般会計等 負担見込額	資金不足 比率	備考
1 国民健康保険後援事業	21,867	23,332	▲1,465	▲1,460	1,810				
2 国民健康保険診療施設	111	111	0	-	44				
3 介護保険事業	14,582	14,581	1	1	2,105				
4 農業共済事業	87	58	9	9	27				
5 後期高齢者医療事業	3,843	2,948	95	95	412				
6 水道事業会計	4,869	4,203	▲130	4,408	32	9,826	48		法適用企業
7 病院事業会計	10,852	11,072	▲240	416	1,536	65,93	4,358		法適用企業
8 下水道事業会計	3,688	3,877	▲209	200	1,923	32,331	15,551		法適用企業
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20 公営企業会計等				3,683		48,550	19,957		資金不足比率

関係する一部事務組合等の財政状況(単位:百万円)

一部事務組合等名	総収益 (歳入)	総費用 (歳出)	純損益 (形式収支)	資金剰余額 不足額 (実質収支)	他会計等 からの 繰入金	企業債 (地方債) 現在高	左のうち 一般会計等 負担見込額	備考
1 丹波少年自然の家	314	290	24	24	232	29		
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20 一部事務組合等								

公債負担の状況

区分	平成22年度	平成23年度	平成24年度	分母比
元利償還金	9,116,484	8,920,102	8,456,050	23.5
減価基金積立不足算定額	-	-	-	-
※ 減価一括償還地方債に係る年度割相当額	46,667	30,000	46,667	0.1
元金償還金	2,202,446	1,993,255	1,921,151	5.2
※ 公営企業債の元利償還金に対する繰入金	3,393	4,072	3,701	0.0
償還金等が起した地方債の元利償還金に対する負担金等	887,118	48,648	489,605	1.3
※ 債務負担行為に基づく支出額(公債費に準ずるもの)	2,300	110	195	0.0
※ 一時借入金の利息				
合計 (A)	12,858,328	11,443,407	10,917,259	
内訳	平成22年度	平成23年度	平成24年度	分母比
PFI事業に係るもの	-	-	-	-
いわゆる五省協定等に係るもの	-	-	-	-
国営土地改良事業・森林総合研究所等が行う事業に係るもの	-	-	-	-
地方公務員等共済組合に係るもの	12,124	12,145	12,166	0.0
社会福祉法人の施設建設費に係るもの	119,714	120,325	119,575	0.3
損失補償・債務保証の履行に係るもの	-	-	-	-
引き受けた債務の履行に係るもの	-	-	-	-
その他上記に準ずるもの	555,278	353,990	357,864	1.0
※ 利息補給に係るもの	-	-	-	-
特定財源の額 (B)	2,684,518	2,682,287	2,381,645	
標準財政規模 (C)	42,182,834	43,676,089	42,235,730	
算入公債費等の額 (D)	6,112,361	5,747,143	5,490,427	
(C)-(D)	3,670,473	3,828,946	3,673,703	
実質公債費比率 (単年度)	8.6	8.5	8.3	
(A)-((B)+(D))÷((C)-(D))×100	8.2	9.1	8.6	

将来負担の状況

区分	平成22年度	平成23年度	平成24年度	分母比
将来負担額	81,700,390	79,073,172	79,603,034	216.7
一般会計等に係る地方債の現在高	1,002,9,853	9,108,980	8,841,890	24.1
債務負担行為に基づく支出予定額	22,821,404	20,778,408	19,969,290	54.3
※ 公営企業債等繰入金見込額	3,764	33,097	29,725	0.1
組合等負担見込額	13,284,902	13,105,048	12,592,283	34.3
※ 退職手当負担見込額	1,074,442	1,103,382	840,598	2.3
設立法人等の負債額等負担見込額	-	-	-	-
※ 連結実質赤字額	-	-	-	-
組合等連結実質赤字額負担見込額	-	-	-	-
合計 (E)	128,897,795	123,280,098	121,870,768	
※ 元金償還金	12,382,807	12,269,245	12,420,895	33.8
※ 元金可能特定減入	3,019,804	2,905,138	2,725,844	74.2
※ 基準財政需要額算入見込額	58,029,896	58,484,284	58,583,796	159.4
合計 (F)	100,810,907	99,718,785	98,250,535	
将来負担比率((E)-(F))÷((C)-(D))×100	70.5	84.8	84.2	
健全化判断比率	平成24年度	早期健全化基準	財政再生基準	
実質赤字比率	-	11.40	20.00	
連結実質赤字比率	-	18.40	30.00	
実質公債費比率	8.6	25.0	35.0	
将来負担比率	84.2	350.0		

地方公債・第三セクター等の経営状況及び地方公共団体の財政的支援の状況(単位:百万円)

地方公債・第三セクター等名	経営損益	経営赤字又は 正味財産	当該団体 からの 出資金	当該団体 からの 補助金	当該団体 からの 貸付金	当該団体からの 標準財政規模に 係る債務保証	当該団体からの 損失補償に 係る債務保証	一般会計等 負担見込額	備考
1 (財)宝塚市スポーツ振興公社	2	358	352						
2 ソリオ宝塚都市開発(株)	124	2,438	915						
3 (財)宝塚市文化財団	8	507	401						
4 (財)宝塚市後援福祉サービス公社	19	358	300						
5 宝塚都市環境サービス(株)	3	37	30						
6 宝塚山本ガーデンクリエイティブ(株)	7	80	25						
7 (株)エフエム宝塚	1	83	40						
8 宝塚市土地開発公社	16	944	5	2		4,815			
9 近畿川都市開発	-	-	30						
10 阪神北広域産業医療財団	▲1	153	33						
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
31									
32									
33									
34									
35									
36									
37									
38									
39									
40									
41									
42									
43									
44									
45									
46									
47									
48									
49									
50									
51									
52									
53									
54									
55									
56									
57									
58									
59									
60									
61									
62									
63									
64									
65									
66									
67									
68									
69									
70									
71									
72									
73									
74									
75									
76									
77									
78									
79									
80									
81									
82									
83									
84									
85									
86									
87									
88									
89									
90									
91									
92									
93									
94									
95									
96									
97									
98									
99									
100									
地方公債・第三セクター等				2,801	2	4,815			

※地方公共団体が12.5%以上出資している法人又は財政的支援を行っている法人を記載している。

※地方公共団体財政健全化法に基づき将来負担比率の算定対象となっている法人については、○印を付与している。

(3)市町村財政比較分析表(普通会計決算)

人	口	233,967	人	(H25.3.31現在)					
うち	日本	230,880	人	(H25.3.31現在)					
面積	総面積	101.80	km ²						
産業	総産出	70,948,723	千円						
実	収	69,235,973	千円						
地方	財政	947,395	千円						
債	現	42,235,730	千円						
権	高	77,956,992	千円						



※市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。

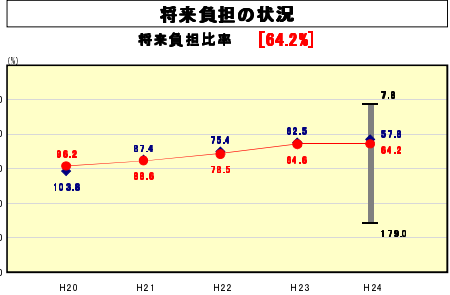
※平成25年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率及び将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

※充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体については、将来負担比率のグラフを表記しない。

※類似団体内平均値は、充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体を含めた加重平均であるため、最小値を下回ることがある。

※「人件費・物件費等の状況」の決算額は、人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし、人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

※住民基本台帳法の改正により、平成25年3月31日現在の住民基本台帳登録人口については、外国人住民を含む。



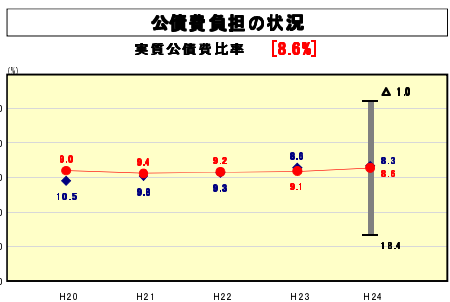
類似団体内順位 23/40

全国平均 60.0

兵庫県平均 93.9

将来負担比率の分析欄

将来負担額は平成23年度に比べて約13億9,618万円減となった。その主なものは、公営企業債等繰入見込額が約8億1,315万円、退職手当負担見込額が約5億1,279万円、それぞれ減となり前年度に比べて0.4ポイント改善した。



類似団体内順位 22/40

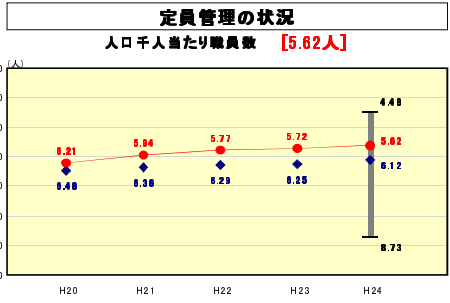
全国平均 9.2

兵庫県平均 11.2

実質公債費比率の分析欄

0.5ポイント改善の要因としては、実質公債費比率算出において分子では、元利償還金等から控除されるものの内、特定財源の額が約2億2,064万円、災害復旧費等に係る基準財政需要額関連が約1億6,398万円、事業費補正により基準財政需要額に算入された公債費関連が約9,968万円それぞれ減となりましたが、元利償還金の額が約4億6,405万円、公営企業に要する経費の財源とする地方債の償還の財源に充てたと認められる繰入金が約7,240万円減となり、合計で約4,759万円の減になったことによるもの。

分母では標準税収入額が約6億4,573万円の減となったものの、普通交付税が約5億5,210万円、臨時財政対策債発行可能額が約2億5,907万円それぞれ増となったほか、標準税収入額等より控除される災害復旧費等に係る基準財政需要額関連が約1億6,398万円、事業費補正により基準財政需要額に算入された公債費関連が約9,968万円それぞれ減となったことにより、合



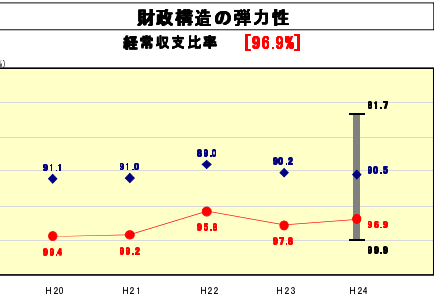
類似団体内順位 14/40

全国平均 7.00

兵庫県平均 6.71

人口千人当たり職員数の分析欄

類似団体平均より0.50人少ない数値となっている。これは、平成16年4月1日から平成22年4月1日までの計画期間とする定員適正化後期計画において、当初削減目標である173人を上回る226人を削減して、計画達成したことに加え、平成22年4月1日から平成28年4月1日までの新たな定員適正化計画の目標を1409人から85人を削減した1324人(地方公営企業を除く)としていて、平成25年4月1日現在では46人削減することができたため。



類似団体内順位 37/40

全国平均 90.7

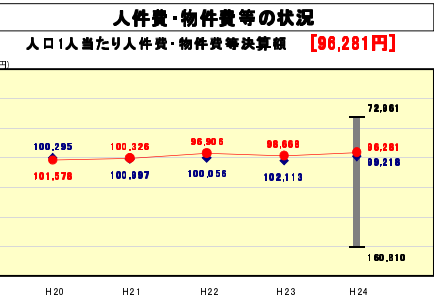
兵庫県平均 90.9

経常収支比率の分析欄

経常収支比率の算定において、分子である経常経費充当一般財源(歳出)が前年度に比べ1億3,204万5千円の増となったが、分母である経常一般財源(歳入)が前年度より5億2,257万5千円の増となったため、経常収支比率が改善した。

その要因として歳出は、議員共済会負担金の負担率の減および退職に伴う職員給の減などで人件費が減少し、多額で高金利の市債償還が前年度に完済したことに伴い公債費が減となったものの、社会保障費である自立支援事業や生活保護事業等にかかる扶助費等が増となったため歳出全体では増となった。

また、歳入では、普通交付税及び臨時財政対策債が増となったことにより、昨年度より0.9ポイントの改善となりました。今後とも、行財政改革の取組を通じて経常経費の削減努力を継続し、財政構造の弾力性の回復に努めます。



類似団体内順位 20/40

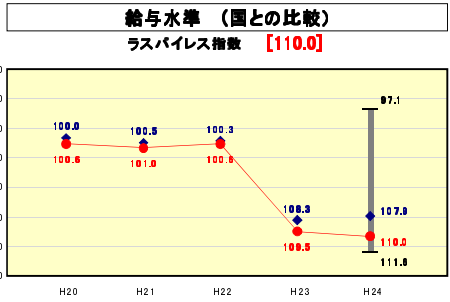
全国平均 116,454

兵庫県平均 109,501

人口1人当たり人件費・物件費等決算額の分析欄

正規職員の減員、平均年齢の低下等により人口1人当たりの決算額は、平成23年度と比べて2,387円低くなっている。

今後も職員数と給与の適正化に取り組み、人件費・物件費等の抑制に努める。



類似団体内順位 33/40

全国市平均 106.6

全国町村平均 103.2

ラスパイレース指数の分析欄

平成23年度から大幅に上昇したのは、国家公務員の2年間の給与削減措置が開始されたためである。前年度と比べ0.5ポイント高くなっているのは、職員構成の変動が主な要因である。類似団体40団体中33位と類似団体平均より2.1ポイント高い値を示しており、今後とも給与の適正化に努める。

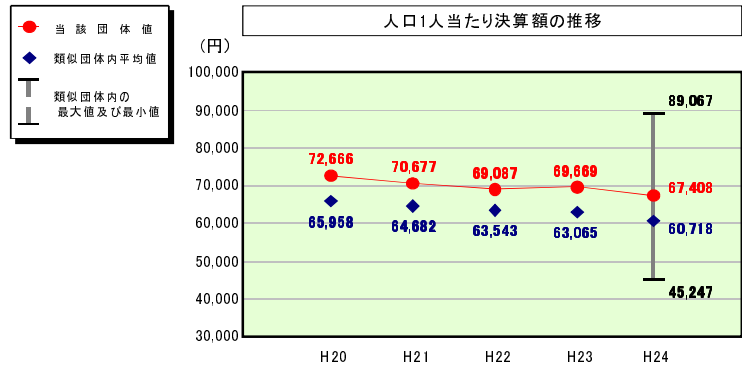
兵庫県宝塚市

(4)-2 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

平成24年度

兵庫県宝塚市

人件費及び人件費に準ずる費用の分析



人件費及び人件費に準ずる費用

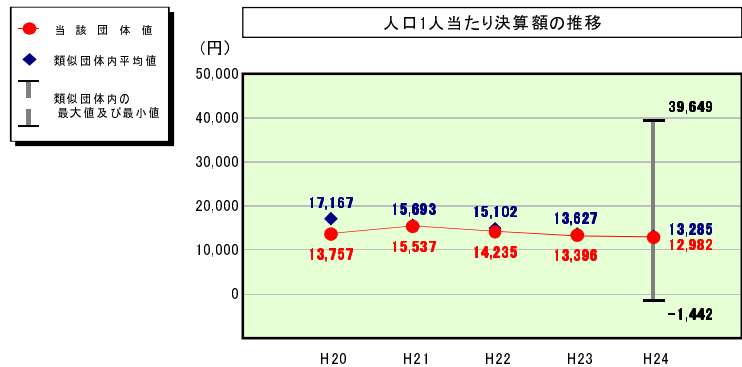
	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体(円)	類似団体平均(円)	対比(%)
人件費	14,533,517	62,118	57,646	7.8
賃金(物件費)	1,129,652	4,828	3,377	43.0
一部事務組合負担金(補助費等)	6,917	30	1,622	▲98.2
公営企業(法適)等に対する繰出し(補助費等)	974,000	4,163	1,252	232.5
公営企業(法適)等に対する繰出し(投資及び出資金・貸付金)	-	-	14	-
公営企業(法非適)等に対する繰出し(繰出金)	415,831	1,777	2,017	▲11.9
事業費支弁に係る職員の人件費(投資的経費)	134,565	575	1,108	▲48.1
▲退職金	▲1,423,206	▲6,083	▲6,317	▲3.7
合計	15,771,276	67,408	60,718	11.0

参考

	当該団体	類似団体平均	対比(差引)
人口1,000人当たり職員数(人)	5.62	6.12	▲0.50
ラスパイレス指数	110.0	107.9	2.1

(注) 住民基本台帳法の改正により、平成25年3月31日現在の住民基本台帳登録人口については、外国人住民を含む。(公債費及び普通建設事業費についても同様)

公債費及び公債費に準ずる費用の分析

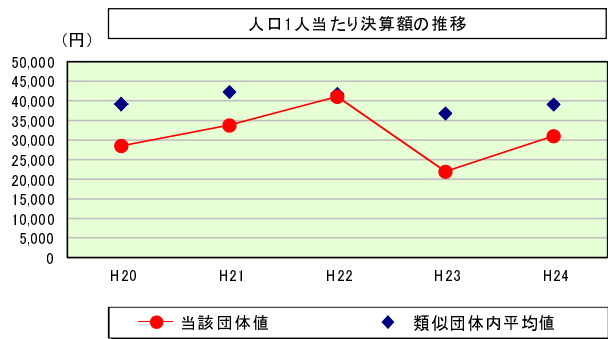


公債費及び公債費に準ずる費用(実質公債費比率の構成要素)

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体(円)	類似団体平均(円)	対比(%)
元利償還金の額 (繰上償還額等を除く)	8,456,050	36,142	34,769	3.9
積立不足額を考慮して算定した額	-	-	2	-
満期一括償還地方債の一年当たりの元金償還金に相当するもの (年度割相当額)	46,667	199	76	161.8
公営企業に要する経費の財源とする地方債の償還の財源に 充てたと認められる繰入金	1,921,151	8,211	12,081	▲32.0
一部事務組合等の起こした地方債に充てたと認められる 補助金又は負担金	3,701	16	617	▲97.4
公債費に準ずる債務負担行為に係るもの	489,605	2,093	1,833	14.2
一時借入金利子 (同一団体における会計間の現金運用に係る利子は除く)	195	1	7	▲85.7
▲特定財源の額	▲2,381,645	▲10,179	▲8,020	26.9
▲地方債に係る元利償還金及び準元利償還金に要する経費として 普通交付税の額の算定に用いる基準財政需要額に算入された額	▲5,498,427	▲23,501	▲28,078	▲16.3
合計	3,037,297	12,982	13,285	▲2.3

※平成25年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(参考) 普通建設事業費の分析



普通建設事業費

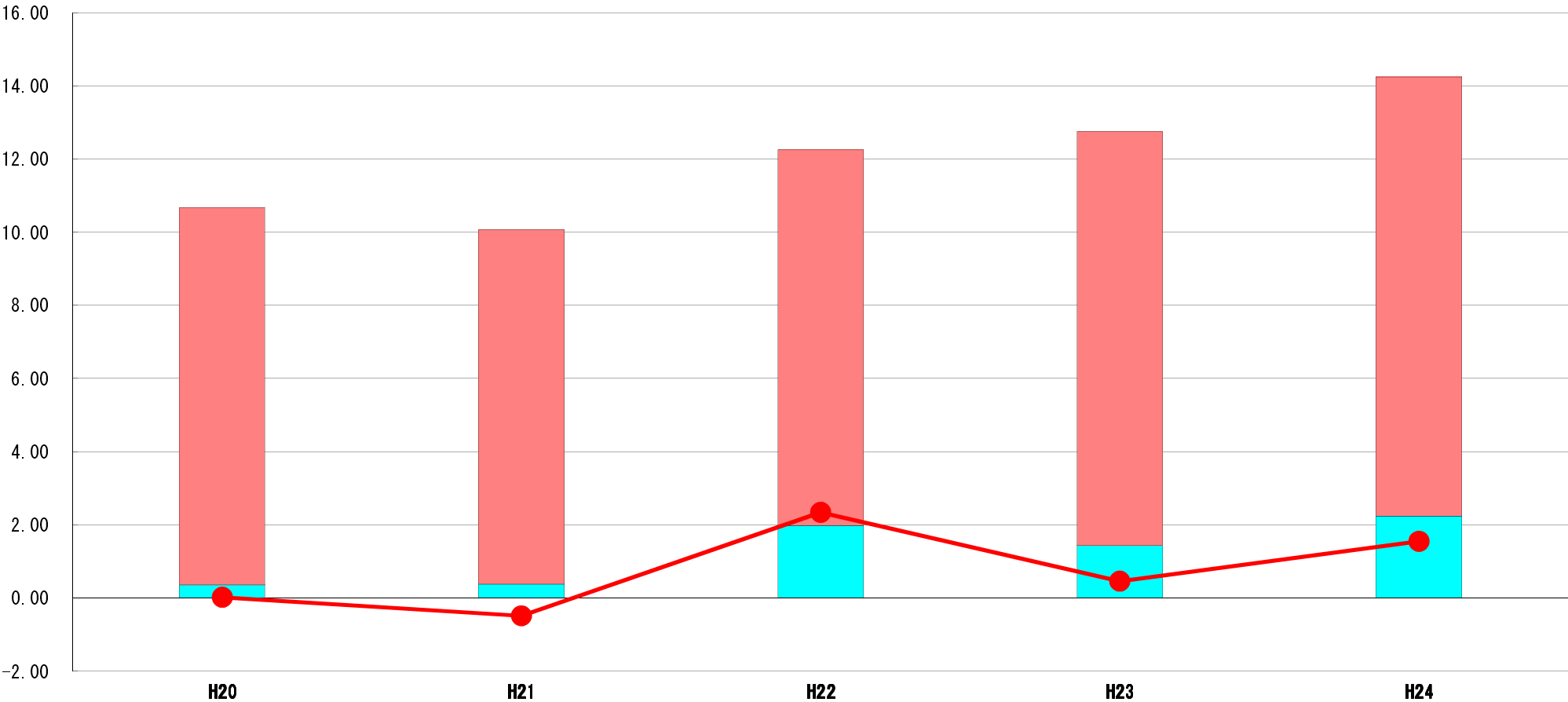
	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額				
		当該団体(円)	増減率(%) (A)	類似団体平均(円)	増減率(%) (B)	(A)-(B)
H20	6,455,064	28,522	▲2.1	39,208	▲5.4	3.3
H21	4,724,360	20,875	7.8	24,594	▲5.8	13.6
H22	7,698,592	33,792	18.5	42,247	7.8	10.7
H23	5,142,167	22,571	8.1	25,497	3.7	4.4
H24	9,412,376	41,081	21.6	41,739	▲1.2	22.8
過去5年間平均	5,397,676	23,559	4.4	24,625	▲3.4	7.8
H20	5,056,700	21,961	▲46.5	36,765	▲11.9	▲34.6
H21	3,334,200	14,480	▲38.5	20,975	▲14.8	▲23.7
H22	7,254,794	31,008	41.2	39,052	6.2	35.0
H23	5,024,894	21,477	48.3	21,186	1.0	47.3
過去5年間平均	7,175,505	31,273	6.5	39,802	▲0.9	7.4
H24	4,724,659	20,592	6.0	23,375	▲3.9	9.9

(5) 実質収支比率等に係る経年分析（市町村）

平成24年度

兵庫県宝塚市

標準財政規模比（％）



標準財政規模比（％）

年度		H20	H21	H22	H23	H24
区分	財政調整基金残高	10.31	9.69	10.27	11.31	12.00
	実質収支額	0.36	0.38	1.98	1.44	2.24
	実質単年度収支	0.02	▲ 0.49	2.34	0.46	1.55

分析欄

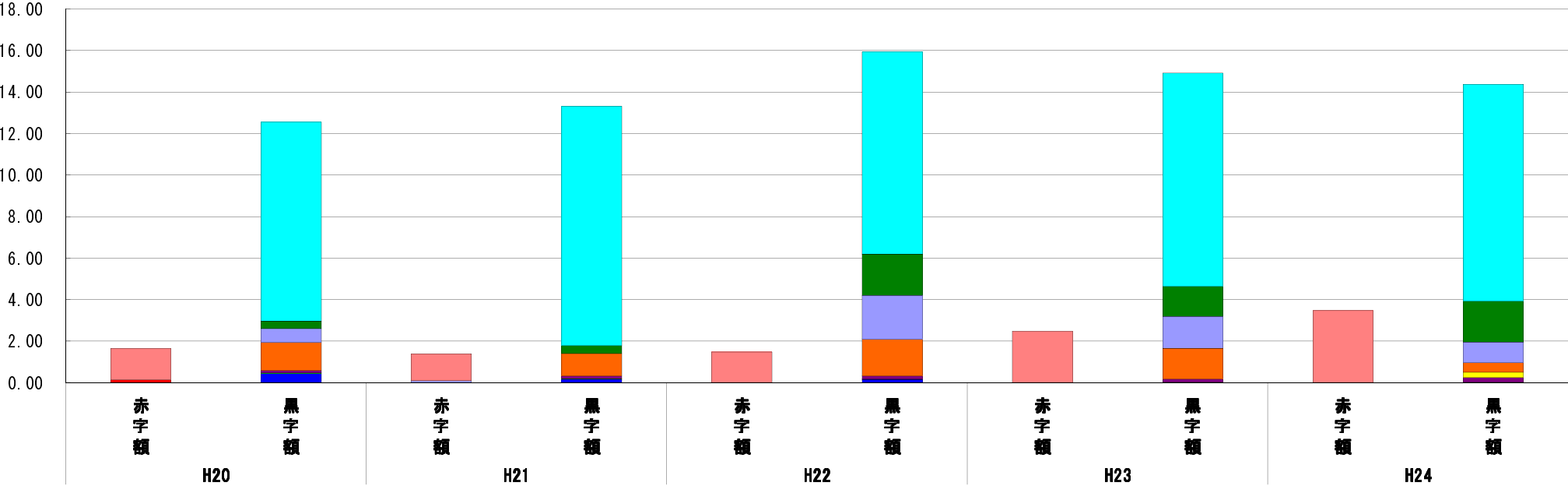
実質収支比率の分子である実質収支額は、前年度に比べ約3億4,212万円の増となり、分母である標準財政規模も前年度より約1億6,544万円の増となったため、実質収支比率は改善した。

(6) 連結実質赤字比率に係る赤字・黒字の構成分析（市町村）

平成24年度

兵庫県宝塚市

標準財政規模比（％）



標準財政規模比（％）

年度		H20	H21	H22	H23	H24
会計	国民健康保険事業	▲ 1.50	▲ 1.30	▲ 1.47	▲ 2.49	▲ 3.47
	水道事業会計	9.57	11.53	9.75	10.27	10.43
	一般会計	0.36	0.38	1.98	1.44	1.99
	病院事業会計	0.67	▲ 0.09	2.11	1.55	0.98
	下水道事業会計	1.36	1.07	1.76	1.46	0.47
	特別会計宝塚すみれ墓苑事業費	-	-	-	-	0.25
	後期高齢者医療事業	0.12	0.15	0.16	0.17	0.23
	農業共済事業	0.03	0.02	0.02	0.02	0.02
	その他会計（赤字）	▲ 0.14	-	-	-	-
	その他会計（黒字）	0.43	0.16	0.15	0.00	0.00

分析欄

国民健康保険事業で約14億6460万円の実質収支の赤字が発生している。

平成23年度まで、保険税率の据え置きが続いたこと、医療分・後期分・介護分の賦課限度額について、法定限度額以下の設定が続いたこと、また平成24年度においては、保険税率や賦課限度額の改定を行ったものの、給付費の見込みを上回る増加や保険税収入が見込みを下回ったことなど、医療給付費の増加に対する歳入が確保できていない状態が継続したことが要因と分析している。

保険税現年分の収納率が89.07%から89.56%となり、0.49ポイント上昇し、現年分収納額は1億1856万円増加し、滞納繰越分を含めた総税収納額は1億3159万円の増加となっている。さらに一般会計からも繰出を行っているが、保険給付費の5億7445万円の増により、単年度収支は4億1753万円の赤字となっている。

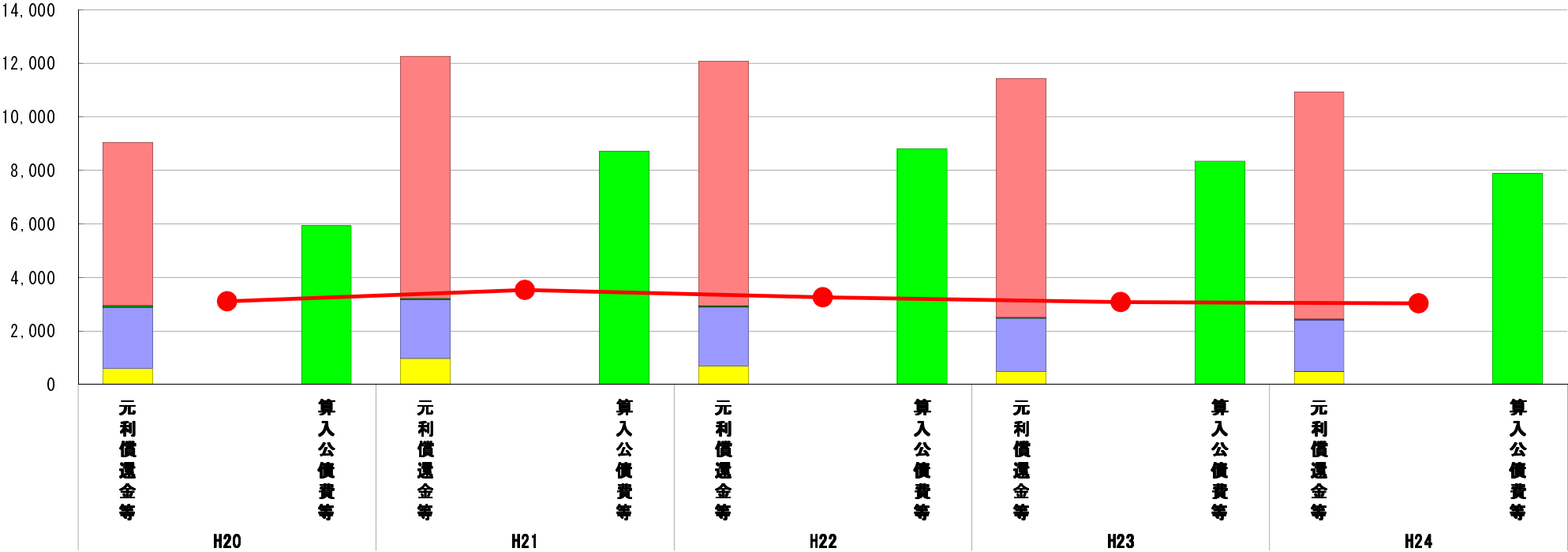
※平成25年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく連結実質赤字比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(7) 実質公債費比率（分子）の構造（市町村）

平成24年度

兵庫県宝塚市

（百万円）



（百万円）

分子の構造		年度	H20	H21	H22	H23	H24
元利償還金等 (A)	元利償還金		6,090	9,036	9,116	8,920	8,456
	減債基金積立不足算定額		-	-	-	-	-
	満期一括償還地方債に係る年度割相当額		67	57	47	30	47
	公営企業債の元利償還金に対する繰入金		2,284	2,192	2,202	1,993	1,921
	組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等		4	3	3	4	4
	債務負担行為に基づく支出額		596	968	687	486	490
	一時借入金の利子		5	2	2	0	0
算入公債費等 (B)	算入公債費等		5,933	8,718	8,797	8,349	7,881
(A) - (B)	実質公債費比率の分子		3,113	3,540	3,260	3,084	3,037

分析欄

実質公債費比率算出において分子となる元利償還金が約4億6,405万円減、公営企業に要する経費の財源とする地方債の償還の財源に充てたと認められる繰入金が約7,240万円減、公債費に準ずる債務負担行為にかかるものが約400万円増、満期一括償還地方債の年度割元利償還金に相当するものが1,700万円増となった。

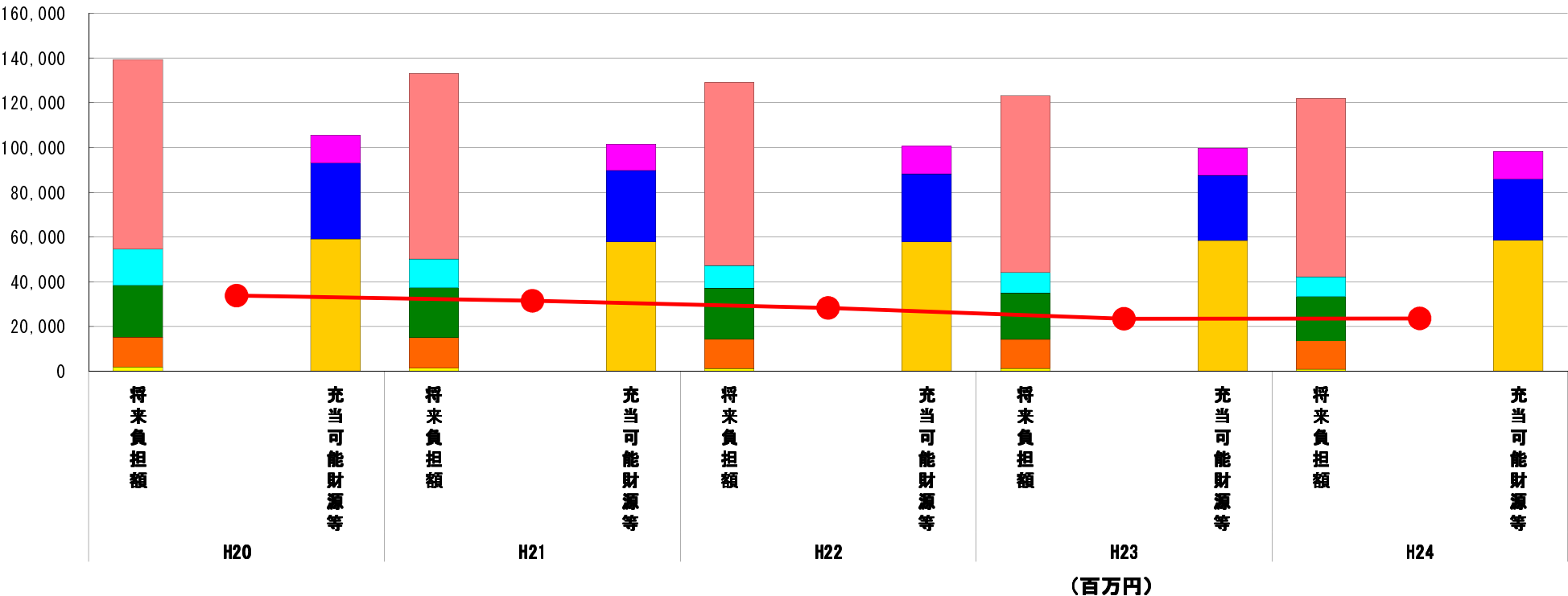
※平成20年度決算の元利償還金は特定財源の額を控除しており、満期一括償還地方債に係る年度割相当額は減債基金積立不足算定額を含んでいる。
※平成21年度決算以降の算入公債費等は特定財源の額を含んでいる。
※平成25年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(8) 将来負担比率（分子）の構造（市町村）

平成24年度

兵庫県宝塚市

(百万円)



分子の構造		年度	H20	H21	H22	H23	H24
将来負担額 (A)	一般会計等に係る地方債の現在高		84,649	82,733	81,701	79,073	79,603
	債務負担行為に基づく支出予定額		16,300	12,757	10,030	9,109	8,842
	公営企業債等繰入見込額		23,204	22,243	22,821	20,776	19,963
	組合等負担等見込額		36	33	37	33	30
	退職手当負担見込額		13,307	13,778	13,265	13,105	12,592
	設立法人等の負債額等負担見込額		1,831	1,408	1,074	1,103	841
	連結実質赤字額		-	-	-	-	-
	組合等連結実質赤字額負担見込額		-	-	-	-	-
充当可能財源等 (B)	充当可能基金		12,299	11,729	12,383	12,203	12,428
	充当可能特定歳入		34,058	31,832	30,199	29,051	27,259
	基準財政需要額算入見込額		59,126	57,891	58,030	58,464	58,564
(A) - (B)		将来負担比率の分子	33,844	31,499	28,317	23,481	23,620

分析欄

将来負担額は平成23年度に比べて約13億9,618万円減っている。その主な要因は、公営企業債等繰入見込額が約8億1,315万円、退職手当負担見込額が約5億1,279万円、それぞれ減となったことによるもの。

※平成25年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。